

2024 年度産業論 第 8 回 レポート課題

11 月 20 日

講師：株式会社デンソー 杉浦 真紀子氏

学籍番号 35714121 氏名 福富隆大

課題 1. ダイバーシティが根付く社会を目指して、自分でも(意識はしていないけど) 行動している事が一つはあると思います。

例) バイト先で留学生の指導役をしている、得意なコミュニケーションを使ってワークショップでファシリテーターをした

その行動を通じて自分の考えやモノの見方が変わったことや、ダイバーシティが根付く社会に向けて何を変えていきたいかを記載してください。

(字数目安 200-300文字)

ダイバーシティが根付く社会を目指す中で、意識的にはないかもしれませんが、日常生活の中で自分が行動していることがあります。それは、異なるバックグラウンドを持つ人々とのコミュニケーションを大切にすることです。

例えば、違う大学の友人とのサークル活動についての話し合いを通じて自分と違う視点を理解するように努力しています。

また、違うバックグラウンドをもつメンバーどうしで意見の衝突が起きた際にどのように解決していくのが全体にとって良い結果になるかを日々考えています。

課題 2. 自分のキャリアビジョン (Will, CAN, MUST) を書いてみましょう。その上で、社会に出る前まで何を行動してみるか？それはどんな考えがあっただろうかを記載してください。(字数目安 400-600 字程度)

自分のキャリアビジョンはソフトウェアエンジニアか、ゲームエンジニアになることです。

その上で社会に出る前にしている行動としては、プログラムを書くことと、チーム開発をすることです。

自分は主にjavascript系の言語を勉強しています。

これまでに作ったものは、ブラウザゲーム、webサイト、タスク管理アプリなどです。

現在は、AIスケジューリングアプリ、サークルの予約システムを作っています。

個人開発は自分の力を高めて、チーム開発はスケジュールの調整や一年生などの学習サポートの練習に力を入れています。

個人開発は将来就職した時のために、誰が読んでもわかりやすいようにコメントをつけたり分かりやすい変数名にするなどの工夫を入れています。

プログラムができたなら自分で使ってみて、使いやすくするためにはどうすれば良いかという使う側の視点を確かめます。

そして、使いやすくするためにどうすれば良いかを考え実装し、このPDCAサイクルをAIなどの手も借りて高速で回転させています